

2020/10/24(土) 笠取山 (山梨百名山)

メンバー : L 辻、福田、F、A、S (非会員 3 人)

奥秩父山塊、多摩川の水源になっている笠取山に行ってきました。

一ノ瀬橋から作場平駐車場までの林道 5K は曲がりくねった細い道で舗装路とはいえ大変な道だった。8 時作場平下段の駐車場はほぼ満杯。ダメもとで上段の駐車場へ行くと運よく登山口に一番近い場所に駐車できラッキー！

作場平からやぶ沢峠まではヤブ沢の川沿いに登山道を登っていく。澄み切ったきれいな水の溪谷美と丁度見ごろの紅葉がとてもマッチしていて素晴らしかった。ただ一つ、ヤスデを除けば。比較的緩やかな上り坂の登山道は歩き安く、ヤブ沢峠から笠取小屋まではおおむね林道歩き。笠取小屋に到着すると小鹿も含め 10 頭以上の鹿が群がり餌を食べていた。どうやら餌付けをしているらしく、人間には目もくれず食べるのに夢中である。餌付けなんてしていいのかな？多くの登山者がシャッターを押していた。

土曜日だからかテント場は大賑わい。大勢の人で溢れていた。雁坂分岐まではずっと木道が続いており、三角の小さな分水嶺(荒川・多摩川・富士川)から見る笠取山はとんがり帽子のようにとがっている。ここから笠取山山頂までの 30 分は一気に急登、本格的な山登りとなる。笹原を登り切りやっと着いた山頂の笠取山道標に標高記載が無く「？」と思っていたら、本当の山頂は 15 分ほど先の岩場の上にあった。生憎富士山には雲がかかっていたが大菩薩嶺、南アルプス、国師ヶ岳を確認。2 週間前のヤマレコにヤスデ大発生の写真有りドキドキしていたが、ここ何日かの寒さでかなり減っていて助かった。それでも結構目につき、ヤスデを気にしながら大休憩。

この後、細い岩場の尾根を登り下りしながら多摩川の源流、水干へと向かう。水干分岐までは登頂コースとは打って変わって険しい岩場が続く。水干は岩場からぽとぽと水が落ちている場所でこれが多摩川の源流なのだとか。ここからは歩きやすい登山道で小さな分水嶺へ戻り笠取小屋へと向かう。この時点で笠取小屋のテント場は大方埋めつくされており大入り満員であった。

一休坂を下り作場平登山口に向かうがテント泊のパーティーと何組もすれ違った。一休坂の紅葉も丁度見頃で日差しを透かして見る紅葉は影絵のようで美しい。山梨 100 名山だけあって登山道はとても整備されており、随所に設置されている案内板には分水嶺や森の詳しい説明有りで勉強しながらの山歩きとなる。半分以上はトレッキングといった山行だったが紅葉真っ盛りの秋を満喫。大満足の山行となった。今日は相当登山者が入ったと見え、かなり下まで路駐の車があった。

天気 : 晴れ/曇り

#### 【コースタイム】

8 : 00 作場平駐車場 (8 : 25 発) ~一休坂分岐~ヤブ沢峠~10 : 00 笠取小屋 (10 : 20~  
雁坂峠分岐~小さな分水嶺~11 : 20 笠取山 大休憩 (11 : 55 発) ~水干~小さな分水嶺~  
雁坂峠分岐~12 : 55 笠取小屋 (13 : 00 出) ~一休坂分岐~14 : 20 作場平駐車場



偽ピーク

小さな分水嶺から望む→



笠取山山頂



笠取山山頂にて



偽ピーク→



一休坂の紅葉



三角柱の小さな分水嶺（多摩川、荒川、富士川）

